

# 静岡市立美和小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年7月8日（木）

## 「本物を見て触れて、昔の人々の生活を実感できたよ。」

歴史の授業が始まり、教科書や資料集などで見てきたものを、より詳しく学ぶために出前授業を希望していただきました。縄文時代から古墳時代の土器に触れたり、火起こしや石器の試し切りなどの体験をしたりすることを通して、古代人の生活を知ることができたようです。

### ◎土器の分類体験と石器の試し切り体験

縄文・弥生・古墳時代の土器の違いについての話を聞いた後、実際に静岡県内で出土した土器片を手に取り、重さや質感、模様などをよく比べ、悩みながら分類していました。縄文土器と弥生土器の違いはだいたいわかるようでしたが、弥生土器と須恵器は似ていて、はっきりとした違いがわからず、迷いながら色や表面の模様を決め手として分類していました。



本物の打製石器や磨製石器を触って、質感や表面の肌触りの違いを確かめることで、教科書や資料集で見た石器について更に細かく知ることができました。黒曜石が貴重な石であることを、地図上で神津島や長野県の和田峠の位置を確かめ納得していました。黒曜石を使って新聞紙を切り、とてもよく切れることを体験できました。

### ◎火起こし体験

雨で火が起きるか心配でしたが、たっぷり時間をとったことで、一人一人が積極的に参加し、弾み車をリズムよく回すことができました。火種を作り、火種を丁寧に火口にのせ、「フーフータイム」も根気よくやったことで、火を起こすことができ、とっても喜んでいました。

